



# カリオン

Vol.5



2008年2月

発行 姫路赤十字看護専門学校  
発行責任者 学 校 長 鍋 山 晃  
編集責任者 事務部長 船 田 理  
〒670-0063 姫路市下手野1-12-2  
TEL 番号 079(294)2251(代表)

## 第109回生 厳かに戴帽



平成19年10月24日、すがすがしい秋晴れの中、姫路赤十字看護専門学校第109回生40名(男子学生2名を含む)の戴帽式が厳かに行われました。

入学後、赤十字看護師への道を歩みだした彼女たちは、確かな知識や技術、協調性、相手を思いやることの大切さを学んできました。日々、看護や医療のあり方について考え、晴れてこの日を迎えることができました。

戴帽式では、赤十字マークのついた、真っ白なナースキャップを戴きました。ナイチンゲール像のキャンドルから母院の看護部長へ、そしてその灯を受け継ぎました。この灯には、ナイチンゲールの看護の心を一滴の水が輪を描いて拡がるように、看護学生に伝えていく意味が込められています。このキャンドルの灯に照らされた姿はとても凛々しく、看護学生としての自覚と誇りをより一層強くしているようでした。彼女たちは、多くの可能性を秘めた、未来の赤十字看護師です。今後、多くの課題に取り組んでいきますが、一人ひとりを厳しくも温かい目で見守っていただきたいと願っております。

(専任教師：藤元 由起子)

### 行事予定(平成20年1月～4月)

**1月** 6日(日)冬季休業終了  
8日(火)9日(水)クラスⅢ卒業前技術演習  
16日(水)17日(木)平成20年度入学試験  
15日(火)～クラスⅢ国家試験前特別講義  
29日(火)30日(水)クラスⅠ基礎看護学実習Ⅰ-2

**2月** 1日(金)～13日(水)クラスⅠ基礎看護学実習Ⅰ-3  
21日(木)～クラスⅡ領域別実習開始  
24日(日)第97回看護師国家試験  
27日(水)卒業を祝う会  
29日(金)クラスⅢ卒業式

**3月** 20日(木)～春季休業  
26日(水)国家試験合格発表

**4月** 2日(水)新入生オリエンテーション  
3日(木)春季休業終了  
8日(火)クラスⅠ(第110回生)入学式  
11日(金)新入生歓迎会  
28日(月)～5月6日(火)保健週間

### 姫路赤十字看護専門学校教育理念

#### 『人道』

赤十字における看護基礎教育のねらいは、赤十字の基本原則である『人道』を基盤に、看護の分野において社会の要請に応え得る、豊かな人間性と看護に関する幅広い能力を兼ね備えた看護の実践者を育成することにある。赤十字は、国際的な視野に立って人の命を守り、個人の尊厳と権利を尊重する。その看護活動は、国籍・人種・信条・政治および社会的立場のいかんにかかわらず、人々のあらゆる健康レベルに応じて健康上の問題が解決されるよう支援することである。複雑な要因に影響される健康問題は総合医療活動として包括的、組織的に取り組まれるようになってきている。この保健医療福祉活動の一環を担う看護の機能は、個人のみならず家族、集団、コミュニケーションへのアプローチへと拡大するとともに、より専門的な実践と調整的役割が期待されている。

したがって赤十字における基礎教育終了時には、保健医療福祉システムの一員として、また国内外における赤十字活動の要員として、個人を尊重した看護活動ができる基礎能力を有し、将来看護の発展に貢献できる看護実践者の育成を目指すものである。



#### 【目 的】

『人道』『公平』『中立』『独立』『奉仕』『単一』『世界性』の赤十字の基本原則に基づき、殊に最高原則である『人道』を基調として、専門職者である看護師の責務を果たすために必要な能力を開発する。

#### 【目 標】

1. 看護の対象である人間を総合的に理解する。
2. 健康状態や生活の場に応じた基礎的看護が実践できる。
3. 看護の実践は「安全」で「安楽」を第一義とし、医療事故を未然に防止する。
4. 看護師として他の保健医療福祉チームと協働する基礎的能力を身につける。
5. 看護の実践に際しては、日本看護協会が規定する「看護者の倫理綱領」をよく理解し、遵守する。
6. 赤十字の基本原則を理解し、国内外を問わず赤十字の諸活動に高い関心をもち、また積極的に参画する。
7. 専門職者としての自覚と誇りを持ち、自己啓発する。
8. 効果的な人間関係を築くための基本的能力を身につける。

## 看護の心を載せて



### 誓いの言葉

私達はこのナースキャップを戴くことができた今、私達を支えてくれたすべての人々に感謝し、このキャップの責任を感じながら、看護師への第一歩を踏み出せたことを嬉しく思います。

姫路赤十字看護専門学校に入学して、自己を見つめ、理解することの大切さを学びました。また、新しい知識や技術を学ぶことで看護師になるという実感がわきました。ここで出会った同じ夢を持つ40人の仲間と励まし合い、支えあって過ごした半年間は改めて仲間の大切さや素晴しさ、有難さを実感しました。

私達は自分の言動に責任を持ち、決して自分に負けないように頑張ります。そして、日々学習し、経験を積み重ねて自己を向上させ、看護師になっても一生学び続けます。今後辛い時があっても明るさや笑顔を忘れず、国民の健康の担い手として、信頼される看護師になることを此処に誓います。

(戴帽生代表)



### 戴帽生からの 喜びの言葉

戴帽式をむかえ看護師に一步近づいたようで嬉しく思います。自覚と責任を持ちキャップに恥じない看護師を目指し、支えてくれる家族と友達、ご指導して下さる先生方に感謝し一日一日を大切に頑張っていこうと思います。

(クラスⅠ)

子育てと学業との両立に不安を抱えての入学でした。無事に戴帽の日を迎え、家族や友人、先生方の支えに改めて感謝すると同時に3年間しっかりやれる自信ができました。

戴帽を新たな出発とし、今まで以上に頑張っていきます。

(クラスⅠ)



戴帽という看護学生としての第一歩を踏み出せたことを大変嬉しく思います。

ここからまた新鮮な気持ちで日々の学習、自分なりの看護観の醸成に努力していきたいと思っています。  
(クラスⅠ)



ナースキャップに憧れを感じていた私。いざ、自分がかぶってみると嬉しさ反面、看護学生という責任感と赤十字の歴史の重みを感じました。これからは気を引き締めて学校生活を過ごしていきたいです。戴帽式という貴重な経験が出来て嬉しかったです。

(クラスⅠ)

この度は、戴帽おめでとうございます。初めて見た戴帽式は感動的で、子供達は夢と希望に満ち溢れていました。入学式と違い、団結した雰囲気が時の流れを感じさせてくれました。戴帽式で感じた素直な感動を忘れず頑張ってください。

(保護者)

## 上級生からの お祝いメッセージ



109回生の皆さん、戴帽おめでとうございます。ナースキャップを戴いた気持ちはいかがでしたか？

この学校に入学し、新しい友達に出会い同じ夢に向かって一生懸命勉強し、色々な事に挑戦する中で、これから失敗したり不安なこともたくさんあると思います。そんな時、戴帽の喜びと感動を思い出し、初心を忘れずに何事にも頑張ってください。

皆さんの周りには、優しく見守ってくれる家族、お互いに助け合い支えあえる仲間、時に厳しく時に優しく指導してくれる先生、そしていつでも相談にのる私たちがいることを忘れないでくださいね。

(クラスⅡ)

## 第109回生戴帽を祝う会 ～アフガニスタン医療救援事業講演～

10月24日に、第109回生の「戴帽を祝う会」として、高原美貴看護師長にアフガニスタンでの医療救援事業について講演をしていただきました。日本赤十字社は“人間が人間らしく生きる”“平和で健康な暮らしを維持する”ためにあらゆる努力を尽くし、人々の手助けをするという使命を持っています。その使命を世界で果たされている高原師長の話は、エネルギーで、情熱的で、学生は非常に興味を持って聞いていました。「地雷は人を殺すものではなく、人を苦しめるものだ」と言われたことが印象的で、戦争の悲惨さや平和の意味を考える機会となりました。戴帽式の祝辞で学校長が「世界に羽ばたく看護師になってほしい」と言われたように、世界で活躍できる看護師になってほしいと思います。  
(専任教師：松井 里美)

All the Best !

戴帽おめでとうございます。初々しい皆様にけっこう生々しい国際救援のお話をしてし

ましたが・・・広い視野で看護そして赤十字のことを考える機会になれば幸いです。また、現場で看護のことを語れたらいいですね。

(姫路赤十字病院看護師長：高原 美貴)



## 日本赤十字社本社研修



本社正門前にて

108回生は10月9日～12日に日本赤十字社本社での研修とレクリエーション目的で東京に行ってきました。本社では国際災害救援に行かれた方の講話や、富山赤十字看護専門学校生との交流会がありました。そこでは、地元や学校、実習の話で盛り上がり、同じ赤十字の看護学生というだけで遠く離れていてもお互い距離を感じることなく溶け合うことができました。研修を終えた後はデイズニーランドで遊んだり、浅草やお台場へ観光に行ったりして、学校での忙しい毎日を忘れるぐらいみんなで楽しむことができました。今回赤十字というこの恵まれた環境のもと勉強できている私は幸せだなと感じ、この気持ちを大切に108回生みんなに残りの学生生活も頑張っていこうと思いました。

(クラスⅡ)



富山の看護学生と



浅草散策

## 秋の球技大会開催



バレーボール  
優勝チーム(クラスⅢ)



学校長  
特別参加

球技大会は毎年11月に行われています。クラスⅠ・Ⅱ・Ⅲの学生のみでなく教務の先生、また病棟から指導者さんも来られます。ここ何年かはバレーとバドミントンを行っており、バレーに教務の先生、指導者さんが参加して下さっています。それぞれの種目で賞があるので毎年白熱した戦いが見られ、応援している側も団結し、非常に盛り上がります。

球技大会を通して他学年との交流はもちろん、教務の先生、指導者さんとも交流がもてるということ、さらに日頃運動不足である人が多いので身体を動かす良い機会になるということが一番感じました。そして皆が一生懸命になってできることも本当に良いことであると思いました。

(クラスⅡ)



NLT(Nice Lunch Team) 受賞

ナイスランチチーム賞は  
学年混合で昼食時を  
最も楽しく過ごした  
チームに贈られます。

## クリスマスコンサートに参加

某病院のクリスマスコンサートにクラスⅡの有志12名が参加しました。「赤鼻のトナカイ」「サンタが街にやってくる」など歌いながら踊り、患者様に喜んでいただきました。

(専任教師：西谷 由子)





# キャンパスだより

## クラスⅠ 技術演習（洗髪・足浴）

僕にとって他人の頭や足を洗うのは初めての経験でした。それで、どれくらいの力で洗ったら良いのか分からなかったし、自分で丁度良いと思った力でも相手にとっては弱くて洗ってもらっている感じがしなかったり、強過ぎて痛みを与えてしまいました。人それぞれ好きな強さ（普段自分で洗っていた強さ）、洗い方があり、また人それぞれ痛みを感じる強さも違うので、患者さんに確認しながら行うことの大切さも感じました。

（クラスⅠ）



## クラスⅡ 芦屋市赤十字奉仕団の方々を迎えて



11月21日、芦屋市赤十字奉仕団の方々をお迎えしました。このような形で他の奉仕団員の方と交流するのは初めてで「何を紹介しよう?」「どのように紹介しよう?」などと戸惑うことも沢山ありました。しかし、劇をして私達の活動を紹介したりお茶を飲みながらお話をしたり、団員の方にも満足していただくことができました。

私たちも他の奉仕団について知るきっかけとなり、とても有意義なものとなりました。

今後もこのような機会が増えれば嬉しいです。

（クラスⅡ）



## クラスⅢ 院外実習

院外実習では自宅で療養される方と関わらせて頂きました。サービスを利用しながら自宅で過ごす療養者や介護をする家族の生活に触れ、退院後の患者様の生活環境をとらえやすくなりました。



在宅看護論実習

病院以外の施設での看護師の役割について考えることができ、私たちの看護観が大きく膨らんだように思います。これらのたくさんの学びをこれからの看護に生かしていきたいと思います。

（クラスⅢ）



遊びりテーション パターゴルフ

# 講師紹介



学生の皆さんのお姉さんのような気分で楽しく声を合わせていたのが昨日のような気がしますのに、いつの間にか母親のような年齢に、それもいつしか越え、もはや……。いえ、私は今も教室に一步入るとお姉さんのような気持ちで楽しくパフォーマンスを続けています。そしてそれにしっかりと応えてくれる心優しい学生達です。この科目を通して皆さんの芸術全般に対する感度がより高まることを願っています。

（芸術講師：声楽家（メゾソプラノ）  
日本声楽発声学会・日本シューベルト協会他会員）

平成15年度から1年次の「微生物学」、「生化学」の講義を担当しています。

高校、大学での生物、化学の学習経験の有無はありますが、将来看護師として実務についた時に基礎的な知識は身につけてもらいたいと、「生活の知恵と笑い」を加味しながら授業を行うように心がけています。

できるだけ、聞くだけの授業から「やってみる（グラム染色、自己血糖測定など）」ことで、理解を深めてもらいたいと思っています。

（姫路赤十字病院検査部技師長）



「成人看護学援助論Ⅱ－アレルギー疾患患者・膠原病患者・感染症患者の看護－」の講義を担当させていただいています。臨床での事例を通し、講義内容を理解していただくように努力しています。特に感染症看護では、タイムリーに流行している感染症の予防策などを学習し、最近の動向をいち早く把握することの重要性を理解していただきたいと思っています。後輩の皆さんと共に、看護について語り合えることを楽しみにしています。

（姫路赤十字病院6階西病棟師長）



## 歴史シリーズ

（副学校長 樺山 たみ子）

実践躬行敢て怠ること莫るべし  
（現代かなづかい）

右宜しく常に之を服膺し  
ふくよう

- 一、博愛にして懇篤親切なるべきこと
- 二、誠実勤勉にして和協に力むべきこと
- 三、忍耐にして寛容なるべきこと
- 四、志操堅実にして克己自制に力むべきこと
- 五、恭謙にして自重なるべきこと
- 六、謹慎にして紀律を重んずべきこと
- 七、勇敢にして沈着なるべきこと
- 八、敏活にして周密なるべきこと
- 九、質素にして廉潔なるべきこと
- 十、温和にして容儀を整うべきこと

## 救護員十訓







## 奉仕団活動報告 小児病棟訪問班

小児病棟訪問班は、単調になりがちな入院生活に少しでも刺激となり、子供達が安全で楽しめるように活動しています。今年はおひなまつり会・こいのぼり会・七夕会・お月見会・クリスマス会を行いました。クリスマス会は、初めての試みとして保育所にも訪問して、小さな子供さん達と一緒に楽しみました。小児病棟では、プレイルームと病室とに分かれ、おみやげも渡しました。今回は、ペーパークラフトで作ったツリーをお土産にしました。

(クラスⅠ)



## 委員会活動報告 環境保健委員

環境保健委員では、より良い学習環境を目指して毎日の掃除を大切にしたいと考えています。清潔・不潔の感覚は一日で身につくものではないと思います。自分たちの使う環境を自分達で整理整頓することは看護師になる私たちにとって大切なセンスを養ってくれるものだと思います。

(クラスⅡ)



## 委員会活動報告 実習室委員

私達委員の仕事は、実習室を常に美しく保ち、誰もが使いやすく、気持ちの良い環境に整えることを目標としています。具体的には、実習室備品の管理や長期休業前のリネン類の洗濯などです。後期は、前期以上に美しい実習室を目指すのでご協力お願いします。

### スローガン

1. 拭き掃除！使用前より美しく
2. 整えて片付けよう！使った物品最後まで

(クラスⅠ)



## 最新の医療ニュース

### 「医療のIT化」

2001年のe-Japan計画以降、看護職を取り巻く社会は、来るべきユビキタス社会を予測し着々とIT化が進められています。姫路赤十字病院でも11月25日から電子カルテの運用が開始されました。

医療情報システム化の成果は、①情報の共有（どこでも情報が参照できる、外部施設との情報交換が行える）②コンピューターによるチェック機能（医療事故防止に役立てる）③データの後利用（蓄積されたデータの検索、統計）などです。

重要なことは、いかに活用し役立てるかです。どんな時にどんな患者にどんな看護を実践したかを集計すれば看護の質の向上につながります。新たな評価基準として「看護必要度」の導入もまもなく始まります。

(専任教師：糟谷 緑)

# 関西看護学生研究大会 回演発表



第3回関西看護学生研究大会で、小児病棟での経験をまとめた論文を発表する機会を得ました。

テーマは「腎生検を受ける幼児へのプリパレーション」です。近畿圏内の看護学生2800名が参加している会場での発表は大変緊張しましたが、質問もいただき皆さんが関心をもってくださったことがわかりました。発表に漕ぎつけるまでに苦労しましたが、臨地実習でお世話になった方々、何度も論文の訂正に付き合ってくださいました先生方、一緒に励ましてくれたクラスメートの協力で頑張ることができました。

(クラスⅢ)

## 情報処理室が一新!

情報処理室のコンピュータがこの10月より新しくなりました。2007年は新しいOSであるWindows VistaとOffice2007が発売され、パソコンの環境が一新した年であり最新の環境で勉強できるようになりました。インターネットの急速な普及によりパソコンを利用する場面も増えています。医療の分野でも電子カルテの導入が進んでおり、それに対応するためにも新しい機材でしっかり勉強してほしいと思います。

(情報科学講師)



## 健康講座 「インフルエンザ」



インフルエンザは、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」で五類感染症に定められています。くしゃみや咳、痰などで吐き出される微粒子を介して飛沫感染します。風邪との違いは、原因となるウィルスの種類が異なることや、急な発熱(38～40度)が特徴で、倦怠感、筋肉痛、関節痛などの全身症状が強いことです。症状は通常5日間ほど続き、感染力が強いのは発熱時です。インフルエンザウィルスは湿度に弱いので、適度な湿度を保つことは有効な予防法です。最も確実な予防は、流行前にワクチン接種を受けることです。流行してからの接種でも感染時に抗体価が上昇していれば症状が軽くなるので、早めの接種をお勧めします。

(専任教師：田畑 淑子)



学校中庭のノジギク



## 季節の花々

京都府木津川市にある浄瑠璃寺は、東方浄土に薬師如来(三重塔)、西方浄土に阿弥陀如来(九体阿弥陀堂)の極楽浄土を現世に具現した寺院です。木々に抱かれるように建つ三重塔の周辺を彩る紅葉は筆舌しがたい美しさです。

(専任教師：糟谷 緑)

## 編集後記

今年度、カリオンを3刊発刊するという目標は、今号をもって無事達成することができました。ご協力いただいた多くの方々に感謝申し上げます。

年を重ねるごとに、1年が短くなっていくように感じます。1日1日その時その時、精一杯自分なりに頑張っているようでも、まだまだ努力が必要だと周りの人たちから教えられたり、刺激を受けたりする毎日です。今年も1年、皆様のお力を借りて、学生を支援していきたいと考えています。気持ちも新たに、よろしくお願いいたします。(専任教師：名村 かよみ)

——— カリオン編集委員 ———

樺山 たみ子 柳 めぐみ 名村 かよみ 糟谷 緑  
田畑 淑子 西谷 由子 尾形 治美

